



発行責任者
校長 猪股 英介

【校長室より】

「絶対大丈夫！」

令和4年度がスタートして、約2カ月が経過しました。校長室から見える草花や木々の緑も一層鮮やかさを増し、爽やかな季節となりました。生徒は、落ち着いた環境の中で、日々の学習や部活動等に懸命に取り組んでいます。5月14日は、3年ぶりのPTA総会を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止からPTA役員とも相談をし、急遽、書面開催に変更いたしました。以下は、PTA総会時に説明する予定でした本校の教育方針です。ご理解のうえ、本校の教育活動にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

◆教育方針（年度始めの職員会議において全教職員で確認したもの）

不易と流行（これまでの指導の継続と発展）

- 【不易】①教育の根幹は生徒指導の充実にあり
②学校は鍛錬の場、なさねばならぬ場
③厳しい愛情に裏打ちされた信頼関係の構築
- 【流行】①常なる挑戦
②常なる前進
③常なる実行、実践

さて、運動部で頑張ってきた高校生にとっては、1年間で最大の大会である高校総体、いよいよその時期になりました。今年の高校総体は、6月3日の佐世保での開会式を皮切りに、県内各地で開催されます。今回は、高校総体に出場する選手の皆さんに、激励の意味を込めて、「絶対大丈夫」という言葉を送ります。

私は、プロ野球観戦が大好きで、大学時代に何度も東京ドームに足を運んでいました。その当時の巨人ファンは今でも変わっていません。2021年のプロ野球は、セリーグ覇者のヤクルトとパリーグ覇者のオリックスが日本シリーズを戦い、接戦に次ぐ接戦、文字通りの激戦を経て、ヤクルトが日本一になりました。私はその試合をテレビで観戦していましたが、日本一が決まった時の選手の涙には感動を覚え、つい拍手を送ってしまいました。日本一になったヤクルトは、2019年、2020年は最下位、2021年も圧倒的な下位予想のチームでした。そんなチームが、なぜ優勝できたのでしょうか。当然、試合をするのは選手ですから選手が頑張った結果であることは間違いありません。しかし、最下位だった前年とメンバーはあまり変わっていないといえます。ある野球評論家は、優勝した要因に、個々の選手が能力を伸ばしたこと、さらに意識改革をあげています。そして高津監督の「絶対大丈夫」という言葉が有名になりました。選手はマウンドに登るとき、バッターボックスに向かうとき、「絶対大丈夫」と唱えて向かったそうです。そうすると、不思議とうまくいく魔法の言葉でした。以下は、高津監督のコメントから抜粋したものです。

「絶対大丈夫の根拠は、君たちが自分のことをしっかり理解し、チームや仲間のことを理解して周りを信じ、一枚岩になったら絶対に崩れない。なんかあったら僕に相談して、コーチにも相談して、自分で抱えこまない。前年までの悔しい思いに基づいて、懸命にここまでやってきたのがこのチーム。みんな自信を持ってほしい。もし、今日グラウンドに立つ時に、ふと思いついたら絶対大丈夫と言ってみてください。絶対大丈夫だから、どんなことがあっても僕らは崩れない。グラウンドで正々堂々勝負しましょう。」

高校総体に出場する選手の皆さん、これまでの厳しい練習に耐え、学習との両立に苦労しながら頑張ってきたことに心から拍手を送ります。後は、一緒に頑張ってきた仲間、顧問の先生を信じ、そしてこれまで支えてもらった家族や友人、地域の方々への感謝の気持ちを忘れずに、存分に日頃の練習の成果を発揮してくれることを願っています。皆さんには、生徒、教職員をはじめ、多くの応援団がついています。そして、試合に臨むとき、試合中弱気になったときは、是非声に出して言うてみてください。「絶対大丈夫」と・・・。

「ふるさと散策」

4月22日（金）、「ふるさと散策」が行われました。この行事は、体力や精神力、そして仲間と助け合う協調性を養うとともに、新入生の歓迎や住み慣れたふるさとを再発見することを目的として行われています。

今年は鬼岳芝生広場を目的地に、往復約13kmの距離を歩きました。新型コロナウイルス感染防止のため、様々な対策をとりながらの実施となりましたが、生徒達は、ふるさとの自然に触れながら、みんな元気に歩きました。また、鬼岳芝生広場に到着した後は、生徒会執行部によるイントロゲームや新転任の先生方によるクイズも行われ、生徒達は楽しんでいました。

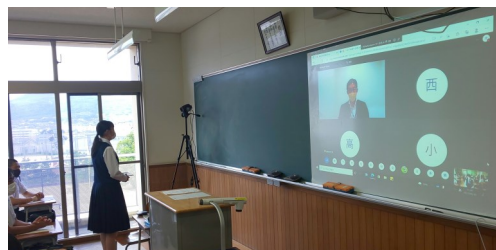
天候にも恵まれ、各クラスで助け合い、励まし合いながらゴールすることができ、達成感を得られた一日となったようです。これからも、五高生全員で協力して学校行事を成功させてほしいと思います。



「人権教育」

5月10日（火）に人権教育が実施されました。今回の人権教育では、長崎県庁県民生活環境部人権・同和対策課から本田直純先生を講師としてお迎えし「障害者差別問題」について講演会を開催しました。コロナウイルス感染予防のため、オンライン上での開催となりましたが、学校を代表して3年2組が講師の先生の問いかけに答え、双方向的講演会となりました。

講演会では、人間の定義やあってよい差別とあってはならない差別など障害の有無を超えた差別問題について学びました。これからの社会を創っていく生徒たちが、どうすれば障害のある人も、障害のない人も幸せに生きられる社会になるかを考える良い機会となりました。



「令和4年度 高総体の各試合会場と初戦」

（個人戦については長崎県高等学校体育連盟HPを御覧ください）

【佐世保地区】

- ・バレーボール（男子：佐世保工業高等学校体育館 女子：佐世保市体育文化体育館）
男子（対 島原工業） 女子（対 西陵）
- ・卓球（佐世保市東部スポーツ広場体育館）
男子団体（対 大村工業） 女子団体（対 猶興館）

【中地区】

- ・陸上競技（トランスコスモススタジアム長崎）
- ・剣道（諫早市小野体育館）
男子団体（対 西海学園） 女子団体（対 清峰対諫早の勝者）
- ・バドミントン（男子：小浜体育館 女子：霊丘公園体育館）
男子団体（対 九州文化学園） 女子団体（対 西陵）

【長崎地区】

- ・バスケットボール（男子：鎮西高等学校体育館） 女子：創成館高等学校体育館）
男子（対 壱岐） 女子（対 五島海陽対猶興館の勝者）
- ・ソフトテニス（長崎市総合運動公園（かきどまり）テニスコート）
男子団体（対 佐世保高専） 女子団体（対 平戸）
- ・サッカー（長崎市営ラグビーサッカー場）
（対 猶興館）
- ・柔道（県立総合体育館）
男子団体（対 佐世保西） 女子団体（対 西陵対猶興館の勝者）

運動部の皆さん、頑張ってください！